



ながはま



Vol.5

平成19年5月1日発行  
発行：長崎市議会  
編集：議会だより編集委員会

だより



びわ幼稚園園舎改築記念式典



平成19年3月定例会を3月2日～3月23日まで  
(22日間)の日程で開催いたしました。

常任委員会報告……………2頁

会派代表による

主な質問事項と答弁内容…3～5頁

議員個人による

主な質問事項と答弁内容…6～8頁

常任委員会で審査された

主な予算の使い道……………9頁

議案等審議結果・編集後記 ……10頁



## 委員会報告

### 安全安心な教育環境へ

総務教育常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、十九年度予算案、十八年度補正予算の専決処分議案と、補正予算案の二件、条例改正案の七件、その他の議案三件の計十三議案であり、慎重審査の結果いずれも可決すべきものと決しました。

▼十九年度予算の主なものとしては、下草野小学校体育館、北郷里小学校体育館・プールが著しく老朽化していることから改築設計、改築工事をそれぞれ行うものです。

▼十八年度補正予算の主なものは、昨年、市民の皆さんとともに取り組みました北近江一豊・千代博覧会の収益金の一部、三千万円を、今後の文化芸術の振興のため、基金に積み立てるものです。

▼条例改正では、市業務の効率的な運営や、地方分権時代にふさわしい自律的な行政運営を行うため、部・課の再編統合を行うとともに、施設連携強化のため教育委員会の「生涯学習」「スポーツ」にかかるとする事務を、市長部局で補助執行するため、事務分掌条例を改正するものなどです。

行政運営の効率的な取り組みは、行政改革大綱集中改革プランを確実に実現し、市の事務事業について市民とともに検討を加えていくことが必要であると委員間で意見をかわしました。

### 暮らしに安全安心なまちづくりへ

健康福祉常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、十九年度予算案八件、十八年度補正予算案三件、条例改正五件、その他議案一件の計十七議案であり、慎重審査の結果いずれも可決すべきものと決しました。

▼十九年度一般会計予算におきましては、住宅の耐震改修にかかる経費の助成や地域の自主防災組織の育成強化などをはじめ、通学路に防犯灯を設置するなど、重点事項の一番目にあります。「暮らしの安全安心」を具体化するものであります。また、子育て支援策におきましては、保育所待機児童の解消に向け入所定員の拡充をはじめ、放課後児童クラブを一箇所増設し、六年生まで受け入れるものです。介護予防を重点とする諸事業の展開やしよがい者自立支援、健康都市ながはまに向けての取り組みなどを推進していこうとするものです。

▼市立長浜病院事業会計においては、がん医療機能の充実に向け、放射線治療装置を更新するものです。

▼十八年度補正予算におきましては、民間保育所の施設整備にかかる助成やデジタル移動系防災行政無線の整備充実、消防ポンプ車の購入などであります。

▼条例の一部改正では、市営駐車場および駐輪場の使用区分を明確にすることや、敬老祝金の支給についてなどであります。

### 活力あふれるまちづくりを

産業建設常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、十九年度長浜市一般会計予算他十議案です。審査前に観光のまちづくり基盤整備を行う「明治ステーション通り」、河川改修を行う「大三六堀」、生活に密着した農林水産物の供給充実を目指し、増築を行う「びわみずべの里」他一カ所の現地視察を行い、状況把握を行いました。

▼十九年度一般会計予算の主な内容は、次世代成長産業の振興として、産学連携新技術創設支援事業、企業立地推進事業などの予算を、商工業の振興として、観光まちづくり基盤整備、観光イベント開催事業などの予算を、農林水産業の振興のため、農地・水・環境保全向上対策事業、里山リニューアル整備事業、直産びわみずべの里整備事業などの予算を、多様な交通体系の整備として市道南田附神前線事業などの予算等です。活力あふれるまちづくり実現のための数多くの事業予算について、慎重に審査を行い可決すべきものと決しました。

▼十八年度長浜市一般会計補正予算の主なものは、田村駅周辺整備事業費、長浜駅周辺整備事業などで、全員一致で可決すべきものと決しました。

▼十九年度長浜市公共下水道事業他三件の特別会計予算については、全員一致で可決すべきものと決しました。

# 会派代表質問

会派代表質問の主な質問事項と答弁内容

## ながはま21

### 市長の所信表明と

### 十九年度予算編成

茂森 伍朗議員

市長の所信表明と十九年度予算編成について

**問** 市長がめざす「足腰の強い自治体」について現状の課題をどのように把握しているのかを問う。

**答** 様々な分野で規制緩和や構造改革が進むことで、地域発展の絶好の機会としてとらえ、日本で初となる先進的な取り組みにスピード感をもって挑戦します。そのために「柔軟で接続可能な財政構造」にすることが重要と考えています。

**問** 合併特例債を活用したハード事業、ソフト事業の活用方針について

**答** 「新市まちづくり計画」において投資的経費に充当する事業の財源として活用を図っていきま

す。具体的な整備計画に基づき、毎年度の予算編成の中で具体化します。

**問** 幼保一元化の基本的な考えについて問う。

**答** 幼児の良さと可能性



の発揮を目指した〇歳から就学前の教育・保育の一貫した流れを重視した幼児教育の推進が必要であると考えています。

**問** 組織機構改革で、生涯学習及びスポーツ分野の所管を、市長部局で取り扱うが、教育という面での連携について問う。

**答** 教育委員会事務の補助執行であり、教育委員会が開催する会議への出席で両部局の密接な連携が図れます。

## 日本共産党

### 病院の問題

竹内 達夫議員

深刻な医師不足について

**問** 深刻な医師不足の原因、勤務医が安心して働ける環境整備について問う。

**答** 新医師臨床研修制度導入で、医局制度が従来通り機能しなくなった。

勤務医は、当直あけの連続勤務、三十六時間勤務も珍しくない、時間外労働の一番多い医師は百七十四時間となっています。

又、女性医師が結婚や出産により家庭と両立できず退職することも医師不足の要因。家庭と両立しながら働ける勤務環境の整備が大切と考えています。

**貧困と格差の深刻な実態について**

**問** 貧困と格差の深刻な実態について問う。

**答** 競争社会の到来や成果主義の影響により拡大しています。雇用形態は正社員からパート、アルバイトへのシフトがあります。生活保護世帯は、

今年二月の時点で百七十

五世帯増加、国保料の滞納者は昨年六月時点で二千三百七十一世帯、資格証明書の交付は六十八世帯、病院窓口で百%支払い

### 24時間について

**問** 防災センター無料風呂、理容、教育集会所、なつめ会館など不公正な行政の見直し、廃止について問う。

**答** なつめ会館や教育集会所などの施設は、廃止、縮小、整理統合等々、できる限り早い時期に具体的な方向を図るべく取り組みを進めています。

## 清流

### 市町合併して一年

吉川 憲雄議員

市町合併して一年の問題について

**問** 市町合併して一年が経過した問題点について問う。

**答** 保険料、各種手数料、使用料、利用料は、調整協定を最大限に尊重し、それぞれの項目ごとに市民生活への影響を考慮しながら、合併協定書に基づき調整しています。機構改革は、組織のスリム化、効率化を図るべく十九年度当初に行い、今後十年間で職員を百三十五人削減します。

正規・臨時職員の給料、賞金の格差調整については、職員の一体感を醸成、職員意識を高めるため見直しを検討します。

**遊休地の活用方針について**

**問** 遊休地の活用方針について問う。

**答** 資産管理を見直し、公利用、貸付、売却等活用方法を検討してきました。旧市民病院跡地は市街中心部に位置し、大規模で貴重な土地として利用方向を決定する中で対応を図ります。



## 生活幹線道路のアクセシビリティの整備について

**問** 生活幹線道路の整備を問う。

**答** 地域の一体性のより強化を念頭に精査し、順次整備します。

## 獣害対策について

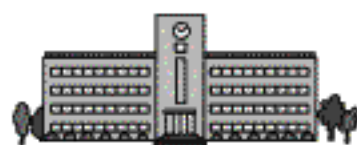
**問** サルなどの獣害対策について問う。

**答** 銃器駆除の強化のため予算増額し、イヤに外す追い払い、いわゆる「モンキードック」の導入を検討します。

## 湯田小学校改築監理について

**問** 湯田小学校改築にかかると監理について問う。

**答** 建築課の技師三名による自主監理又、関係者による工程協議を毎週開き監理の徹底をしています。



## ひわ

### 合併一周年と

### 旧ひわの課題

溝口 治夫議員

### 合併一周年を迎えて

**問** 合併協定書の調整方針の進捗状況について問う。

**答** 順次調整が進んでおり、残りは全体の十数%で、調整経過についても主な項目は広報などで公表していきます。

### 十九年度予算と市長所信

### 表明について

**問** 前年度事業評価と新年度予算への反映及び徴収課の所管を問う。

**答** 事業毎に評価を行い、全体で5%の削減を図り、今後とも「伸ばすものは伸ばし、萎えるべきものは思い切つて萎えていく」。徴収課は当面全未納額（約十億円）の八割を占める市税と国民健康保険料の二種類の徴収・滞納



整理に当たります。

### 旧ひわの重要課題の二点の対応について

**問** 都市計画区域区分の児童しの進捗状況を問う。

**答** 県の都市計画区域の再編の素案が、二十一年度で作成される予定ですので、それに提出していきたいと考えています。

**問** 流域下水道西幹線の早期着工を問う。

**答** 集落排水から流域下水道への接続は国交省と農水省の合意が条件となっており、課題もありますが、今後県内の集落排水を揃える市町と共に県・県に積極的に働きかけていきます。

## 今浜会

### 市街化調整区域の見直しと農地確保

青木 基浩議員

### 市街化調整区域の見直しと農地確保について

**問** 市が策定を進めている「都市計画マスタープラン」において、市街化調整区域の見直しや優良農地の確保についての考え方を問う。

**答** 市街化調整区域においては、農業振興地域を指定するなど農業生産基盤の整備に取り組み、優良農地として確保してきました。しかしながら、無秩序な土地利用には歯止めが出来たものの、農業担い手や定住人口の減少など、自治会活動に支障を及ぼすところも出てきた。昨年十一月から進めるマスタープラン策定にあたっては、農村と都

市部が健全な発展と秩序ある整備が出来るよう、関係機関と協議調整し、持続可能な農村づくりの努力をしていく。

**幼・小・中学校施設の改修・改築計画について**

**問** 市財政、人口動態から見た教育施設の改修・改築計画について問う。

**答** 全ての学校施設の耐震調査を実施した結果、補強改修工事をする事で維持管理できる施設と、改築が有効と判断した施設に区分し、耐震化を図っていく。特に、北郷里小、下草野小体育館・神照小体育館は、改築するものとした。避難所となっている施設改修を優先しつつ、特定財源の確保に努め、一般財源を毎年

## 公明党

### 子どもに優しい

施策の推進を！

福岡 一夫議員

### 財政改革について

**問** 公会計に複式簿記・発生主義を取り入れることについて問う。

**答** 複式簿記を導入すべく取り組んでおり、総務省モデル方式の進捗も視野に入れ、三年後には発生主義を取り入れた財務情報の開示を可能にしたいと考えております。

### 入札制度改革について

**問** 入札制度改革指針の策定について問う。

**答** 条件付一般競争入札の拡大等制度改革を検討する中で、より一層、競争性が高まるような入札

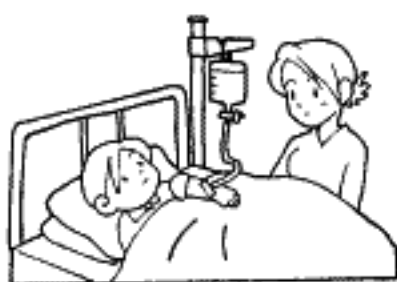


制度改革に取り組んでいきます。

### 少子化対策について

**問** 乳幼児福祉医療費助成制度の無料化拡大について伺う。

**答** 十九年度秋を自途に、小学校卒業児まで、二十年度には、中学校卒業児までの入院費無料化を実施し、子育て世帯を応援してまいりたいと考えています。



**問** 妊産婦無料検診の拡大について伺う。

**答** 子育て支援の一環として、妊婦健康診査の公費負担の拡充を行うこととし、補正予算を組むなど、速やかな対応を図っていきます。

### 教育施策について

**問** 学校の統合について伺う。

**答** 子どもたちの成長に望ましい教育環境という観点で協議してまいります。

## 市民の声を市政に届ける議員の会

### 行政サービスの向上

東野 司議員

**行政サービスの品質向上について**

**問** 今後の湖北での広域的な合併も視野に入れ、リーダーシップを取るべき長浜市における、目に見えた行政サービスの品質と公平性の確保という観点から、品質規格である「ISO9001」の認証取得をするべきではないかを伺う。

**答** 費用の問題もありますが、認証取得の検討もきめたなかで、行政サービスの品質向上に努めて

まいります。

### 安全安心の暮らしを守ることについて

**問** 昨年の経費を踏まえ、マスクを含む対策本部のあり方について伺う。

**答** 緊急時だけでなく、平常時においても、全ての部署で組織が有効に機能し、確実に事務事業が処理できるよう、研修や訓練を進めてまいります。



### 幼稚園児のバス通園の弊

について

**問** 通園を楽にするためだけにバス利用を拡大するのではなく、長浜には長浜に適した方法での通園をすべきと考えますが、

幼稚園児の新規に始めたバス通園の評価についてどのように把握しているのかについて伺う。

**答** 運行を始めてから三年、いわゆる年少児童が卒園するくらいまで継続して、利用者の意見、園児の様子を考察できる幼稚園職員の見聞等を聴取し、評価すべきと考えています。

## カルバス

### 行政改革

福永 利平議員

### 行財政改革について

**問** 収支不足額の改善、職員数の適正化計画、年齢構成のあり方を伺う。

**答** 「行政改革大綱」「中改革プラン」を基盤に実施し、定員適正化計画の目標達成のため効果的、効率的な行政運営を行うと共に職種ごとに計画的な職員採用に努めます。

### 農業問題について

**問** 農業経営基盤の強化促進にあたっての現状、今後の指撻、対応を伺う。

**答** 集落営農をはじめ若者の確保が課題で、今後経営基盤を固め、真の集落の受け皿となる担い手を誘導、育成、確保に向けて努力します。

**農業自然環境の保全と再生について**

**問** 竹生島のカワウ対策と里山リニューアル事業について伺う。

**答** 竹生島の保全対策は一刻の猶予もできない。飛来時期に合わせ三月より実施し、引続き終日駆除する効果的な方法を検討します。里山は、多くの人が森林に親しむ場として計画的にリニューアルに取り組んでいきます。



### 教育問題について

**問** 小学校に於ける適正な指導の規模と英語教育の推進の考えを伺う。

**答** 児童にとって望ましい教育環境を見据え取り組めます。英語教育は、現在のカリキュラムの成果を見極め、小中学校の連携を図ります。

**病院の経営改善について**

**問** 空病床の原因と対策について伺う。

**答** 医師、看護師不足及びその影響による手術の減少があり、両者の補充確保が第一であり、業務、労働条件の改善に取り組めます。





# 個人質問

個人質問の主な質問と答弁内容

## 医療費助成制度の拡充

武田 了久議員

外国人児童・生徒の教育支援について

現在、現在の教育現場での課題とフレスクールの運営指導方法について問う。

六ヶ月間、基本的な生活習慣や日本語能力を習得するためのフレスクールを開設します。

水道事業の統合について

市内には三施設の学校給食センターがあるが、改築計画又、事業統合に

業団への事業統合について問う。

広域化による事業の効率化、財政基盤の確立を図ることから、今後、広域的な連携を考えています。

市内には三施設の学校給食センターがあるが、改築計画又、事業統合に

について問う。

長浜・びわ学校給食センターともに、早期に改築が必要であり、統合地産地消も含めて早急に計画します。又、地域の幼稚園給食も考えます。子育て支援医療費助成制度について

医療費助成制度として、小・中学校の児童生徒まで拡充出来ないかを問う。

市民の「子育て家庭の経済的な負担の軽減」を求める声に応え、小・中学生の入院医療費無料化を段階的に実施します。

## 路線バスの運行方法

金山 正雄議員

路線バスの現状と今後の運行方法について

現在、長浜には八路線のバスが運行され、赤字総額が九千二百万円となっています。今後の路線バスについての考え方を問う。



バス利用者が少ない割に市の負担が多額であることを認識し、今後地域公共交通会議や地域の方々と会議を設け、長期・短期的な視点から検討を進めていきます。短期的には利用者の少ない路線については、具体的な方策をもって試験的な導入を図っていきます。

道路改良について

曾根通学線と南小湖畔線の交差点が交差角度になっていて、危険な状態であるとともに曾根通学線は道幅も狭く歩道

がない為、道路改良が必要であると考えるが、市の考えを問う。

交差点改良と曾根通学線の道路改良は一体的に整備する必要があります。市の道路網整備計画に基づき計画していきます。

工業団地への企業誘致の進捗状況を問う。

川道工業団地遊休工場には飲料関係の会社が五月頃から稼働する予定です。その他の所も具体的な交渉に入っている所、或いは、リース制度による立地を検討している所もあります。

## 平成十九年度の農業施策

農業施策

伊藤兵一郎議員

平成十九年度の農業施策について

環境まるごと保全(一階部分)への参加状況について問う。

長浜地区六十五集落中三十一集落、浅井地区は五十三集落中三十二集落、びわ地区は二十四集落中二十三集落、面積での取り組みは約七割です。

取り組み集落に対する

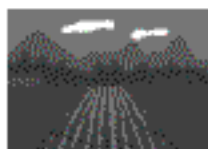
る万全のフォローについて問う。

現在は、講習作成の相談にあたっております。果、農協、土地改良区などと連携をとりながら、商料等ができる限りご提供させて頂くなど、最大限の努力をします。

環境にだわり農業において、国の施策に臨み換えられることによつて

対象外となる農家がある。県へ助成維持を求めることについて問う。

県への維持費の結末、今後二年間は、これまでの支援額の二分の一相当の十アールあたり、二千五百円の支援を行う方針が出されました。



## 痛みに対する医療の充実

医療の充実

押谷 友之議員

ペインクリニックの充実について

医療の目的は「痛み」からの解放と云っていい。いくら検査しても、原因のはっきりしない「痛み」に耐えている高齢者の人々が、リウマチ、ヘルペスなど日常的に「痛み」に耐えている患者さんたちを救うペインクリニックの充実を図る

「痛み」に耐えている高齢者の人々が、リウマチ、ヘルペスなど日常的に「痛み」に耐えている患者さんたちを救うペインクリニックの充実を図る

べきだと考えるが当分の見解を求める。

「指摘の通り「痛み」への対応は医療の中でも大事なことを考えています。長浜病院では、主治医を中心に緩和ケアチームをつくるなどして「疼痛緩和」に取り組んでいます。ただ、麻酔医が数年前は六名だったが現在は三名、手術への対応だ

で手一杯。ペインクリニック外来は非常勤医師による週一回だけ対応しています。当院としても「痛み」の緩和を図るペインクリニックを充実したいと考えていますが、麻酔医の増員など難しい課題があります。

今後、関係機関に対し、ペインクリニックに興味を持った医師の派遣を強く要望して行きます。



## 地域産品の販売について

山口 忠義議員

## 活力あるまちとは

吉田 豊議員

### 地域産品について

**問** 地域産品の販売施設の運営、収支状況はどうか。

**答** 産直びわ、プラサふくらの森の施設共に指定管理者制度による運営、産直びわは売り上げ二億九千万円で、その経営は順調。プラサふくらの森は、二千八百万円程度で厳しい状況であり、経営努力が必要と考えている。市町合併に伴い販売手数料が同じ市内でも居住する地域で差違が生じており、新市として一体感の醸成を図るため同様な条件

### 湖北の大同合併について

**問** 県の推進案に対する具体的な動きはどうか、米原を含めた大同合併を目指すべきではないか。

**答** 六町からは正式な申し出はないが、機運は熟しつつあると感じている。米原を含めた湖北の大同合併には大賛成である。今後の合併については、関係市町において議論が十分に尽くされ、正式なお話があれば、市民の皆さん、市議会とのコンセンサスを獲得、前向きに取り組み対処したい。

### 活力あるまちについて

**問** 市長がめざす活力あるまちとは。

**答** 「日本の最先端を行く長浜」の実現であり、外国企業の誘致、教育日本一、健康日本一をめざしています。

### 地域産業活性化計画

**問** 地域産業活性化計画策定はどのように進めるのかを問う。

**答** 法律が施行されるに伴い、県、市、関係機関で「地域産業活性化協議会」を立ち上げ、基本計画を策定し、国の認定を受けることで、様々な支

### 観光振興について

**問** 市の観光振興と目標について問う。

**答** 宿泊、滞在型観光客の誘致の為に、広域観光の推進、夜のにぎわいの創出、体験型観光の推進、又、合併の利点を活かした新たな観光地づくりに取り組みます。

### 景観条例について

**問** 都市景観を保持し、魅力あるまちづくりの為にどのように取り組むのか。

### 景観法に基づく「景観行政団体」として知事

から同意を得て、公聴会等で市民の皆さんの意見を頂き、景観行政を進める場として、景観計画区域と景観計画の策定を行い、併せて、景観条例の案案を策定していきます。

## 市の教育と予算削減

脇阪 宏一議員

### 幼小中一貫教育について

**問** 幼小中一貫教育について市長の公約と教育委員会との乖離はないかを問う。

**答** 幼小中一貫教育の推進は私の変らざる願いであり、その実現に向け制度や教育内容等を検討してまいりたいと考えています。

### 一刻も早い「親つくり教育」の設置について

**問** 親としてのスタートを助ける人々を支援していくことも今日の重要な課題であり、子育て支援としての取り組み推進が必要と考えています。

### 市の財政ひっ迫の中、十九年度予算削減について

**問** 議員報酬及び全国平均を上回る議員給与等の削減努力がなされているかを問う。

**答** 議員給与の削減については、優秀な人材確保及び職員の意欲保持の面から慎重に対処していかねばならない課題と考えております。

### 殖産興業の開発推進を図り「自助」「互助」の育成について

**問** 特産品開発支援セミナーの開催などを通じ、農業を付加価値の高い産業として脱皮する仕組みづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

## 地域医療の充実

林 多恵子議員

### 地域医療の充実について

**問** 地域がん診療連携拠点病院として、高精度治療の充実について問う。

**答** セカンドオピニオン機能の充実と、緩和ケア推進委員会を設置し、知識、技術の取得に努めています。在宅患者には、地域の医療機関と連携し、在宅での緩和ケアの取

### 活字文書読み上げ装置の設置について

**問** 公的窓口で活字文書読み上げ装置の設置について問う。

**答** 当面は、普及のためモデル機器として、福祉部門等の窓口を設置し、順次計画的に配備を進め

### 次世代育成支援について

**問** 次世代育成支援対策行動計画の進捗状況と、保育園入所待機児童解消への取り組みについて問う。

**答** 民間の充実、一部の公立保育所の増設、改修による定員の拡大や、企業内託児所への設置、支援をしてまいります。



## ごみ袋無料配布

秋野 久子議員

**可燃ごみ有料化について**  
**問** 可燃ごみ袋有料化は市民のごみ減量努力に反するもの、無料配布をなくはないよう求めて。



**答** センターが二十一年度から無料配布をなくす検討をしています。見直しにあたっては市民の意見を反映していきます。

**問** 要介護者や乳幼児のいる家庭では、紙オムツは可燃ごみで出す以外処理方法がなく困っています。必要な家庭に無料配布の枚数増を求めて。

**答** プラスチック製容器包装の分別収集で改善されているので追加配布の必要性は低いです。

## 学童保育について

学童保育が六年生まで拡大されたが、定員十人に満たないと実施されない。留守家庭の子どもの安全のためにも希望する児童の受け入れを問う。

**問** 学童保育が六年生まで拡大されたが、定員十人に満たないと実施されない。留守家庭の子どもの安全のためにも希望する児童の受け入れを問う。

**答** 指導員や場所の確保など問題があり、今後の検討課題とします。安心して医療が受けられるよう求めて。

**問** 医療費無料化を中学校卒業まで拡大することについて問う。

**答** 今秋から、小学校卒業まで、来春から中学校卒業まで入院医療費に限り無料化を実施します。

## 市税の効率的な徴収体制

西尾 孝之議員



**幼稚園給食の早期統一について**  
**問** 幼稚園給食の早期統一を問う。

**答** 長浜地区の保護者から要請を受けており、学校給食センターの改築計画で、実施に向けた施設整備の充実をしていきます。また、年齢や発達段階にあった献立を作成する体制、園舎の改築などの整備をしていきます。

**税の効率的な徴収について**  
**問** 昨年来、市税の徴収に、プロジェクトチームを設置し、取り組んでいるが、どの程度の効果があったのか又、滞納者を食い止めるため、民間を採用することについて問う。

**答** プロジェクトチームにおいて特別催告、来庁要請に應じなかった滞納者に納付指導を行い、面談率七十%を確保しました。又、徴収業務に九名を配置しており、いずれも豊富な行政経験と民間経験を活かしながら行っています。今後も、雇用にあたり、債権回収の経験・経歴を考慮し採用いたします。

## 福祉の充実

浅見 信夫議員

**高齢者支援体制の充実について**  
**問** 介護ベッドなど市の福祉用具貸与事業について問う。

**答** 高齢者に対する障害者除対象者認定書について問う。

**問** 事務処理については、国の基準に基づき定めた要綱により行っています。障害者自立支援関連事業について

**問** 障害者自立支援法円滑施行特別対策事業について問う。



**答** 昨年十月から県と市が歩調を合わせて実施してまいりましたが、国の特別対策と整合を図り、利用者の方々の負担が軽くなる方策を検討しながら福祉サービスが提供されるよう支援をすすめてまいります。

**問** オストメイト対応トイレの設置について問う。

**答** 整備にあたっては、「障害者自立支援法円滑施行特別対策事業補助金」といった特定財源の確保を前提として進めてまいります。

## 地場産業の育成

野村 俊明議員

**地場産業の育成について**  
**問** 長浜の地場産業には、どのようなものがあるか、認識しているかを問う。

**答** 例えば、歴史のある伝統的な産業や、誘致企業と地元企業が結びついて地域に根付いた産業、

将来の地域の原動力となる産業等があり、一言で表現いたしますと「地域経済の顔となる産業」と

言えると思います。

**問** 地場産業育成の考え方と、施策について問う。

**答** 地場産業の育成には、企業、技術、人材、製品等の地域資源を掘り起こし、地域経済の競争力を高めていく必要があり、方法は、地域ネットワークの緊密化によるビジネス創出、国・県・市の補助、融資制度の活用があ

ります。

**問** 活力あるながはまの姿をどう考えているか

**答** 地域活力の源泉となる多様な産業が発展していることと暮らせる都市と

考えています。

**問** 他市に優れる成長要因について問う。

**答** 競争力の高い企業群が集積していること、市民の勤勉性、教育水準の高いことと考えます。



# 平成19年度当初予算を 各常任委員会で慎重審査 一般会計予算の「おもな使い道」

## 暮らしの安全安心のまちづくり

- 住宅耐震・住宅バリアフリー改修工  
事に対する奨励金制度の創設 1000万円
- 防災行政無線の規格を全市で一元化 2億1600万円
- 長浜・浅井・びわ地区の消防団総綱  
の統合に伴う消防活動服を統一整備 1100万円
- 集落間の通学路に防犯灯を設置等通学の整備 1312万円

## 公平・公正な市民主役のまちづくり

- 自治会枠を越え地域で考え、実践する  
地域づくり活動の支援 150万円
- 地域資源を掘り起こし、地域振興を図る  
「夢心くらむ地域いきいき計画」策定 400万円
- びわ学校給食センターの重油流出に  
よる汚染土砂等の処分 3000万円

## 福祉・健康・教育の充実した 生涯現役健康都市づくり

- 保育所待機児童解消事業
  - 民間保育所の施設整備補助 1044万円
  - 既存保育所の入所定員拡充の  
ための施設整備 7582万円
  - 幼稚園での預かり保育実施 685万円
- 事業所内託児保育所補助金の引き上げ 100万円
- 放課後児童クラブの対象年齢・  
定員・クラブ数の拡大 6707万円
- 0～3歳未満に対する児童手当  
を一律1万円に引き上げ 7億3074万円
- 障害者自立支援法の施行に伴う  
利用者負担軽減等、激変緩和策 1億7200万円
- 市立病院で、がん治療を行う放  
射線治療装置の更新 6億円
- 北郷里小学校体育館・プールの改築 4億0860万円
- 下草野小学校改築設計 1000万円
- 長浜文化芸術会館空調設備等改修 1億5000万円
- 市民体育館の改修 3700万円
- 外国人児童生徒の会話や読み書き、  
学校生活のサポート・プレスク  
ールの開設 1398万円

## 活力あふれるまちづくり

- 企業立地を促進し、産業集積の形成、  
活性化の基本計画策定 100万円
- 明治ステーション通り  
(北国街道～図書館地先)の景観形成 2200万円
- 姉川の合戦史跡、三成の里整備、  
大型戦国ドラマ誘致 7500万円
- 市民が森林に親しめる里山等の  
リニューアル 990万円
- サル・イノシシによる農作物被害  
の軽減、クマの出没緊急対応 643万円
- 産直びわみずべの里増築等 3340万円
- 竹生島のカワウの追い払い 1600万円
- 長浜駅東・西駐輪場建設 1億2000万円
- 田村駅の駐輪場、公衆便所整備 5000万円





第一回定例会(三回)

議案

第一号	専決処分事項の承認を求めることについて	承認(全員)	第二十四号	長浜市手数料条例の一部改正について	可決(全員)
第二号	平成十九年度長浜市一般会計予算	可決(多数)	第二十五号	長浜市営駐車場条例及び長浜市営駐輪場条例の一部改正について	可決(全員)
第三号	平成十九年度長浜市国民健康保険特別会計予算	可決(多数)	第二十六号	長浜市国民健康保険条例の一部改正について	可決(多数)
第四号	平成十九年度長浜市診療所特別会計予算	可決(多数)	第二十七号	長浜市福祉医療費助成条例及び長浜市老人福祉医療費助成条例の一部改正について	可決(全員)
第五号	平成十九年度長浜市老人保健特別会計予算	可決(全員)	第二十八号	長浜市救急基金条例の一部改正について	可決(多数)
第六号	平成十九年度長浜市介護保険特別会計予算	可決(多数)	第二十九号	長浜市市営住宅条例の一部改正について	可決(全員)
第七号	平成十九年度長浜市介護認定審査会共同設置特別会計予算	可決(全員)	第三十号	長浜市消防団員消防費しゅつ金及び物贈答特別費しゅつ金条例の一部改正について	可決(全員)
第八号	平成十九年度長浜市しよがい者自立支援審査会共同設置特別会計予算	可決(全員)	第三十一号	長浜市立学校の設置等に関する条例の一部改正について	可決(全員)
第九号	平成十九年度長浜市公共下水道事業特別会計予算	可決(全員)	第三十二号	長浜市立幼稚園保育料条例の一部改正について	可決(全員)
第十号	平成十九年度長浜市農業集落排水事業特別会計予算	可決(全員)	第三十三号	滋賀県自治会館管理組合規約の変更について	可決(全員)
第十一号	平成十九年度長浜市浅井難易水道事業特別会計予算	可決(全員)	第三十四号	滋賀県市町村職員研修センター規約の変更について	可決(全員)
第十二号	平成十九年度長浜市東上坂工業団地整備事業特別会計予算	可決(全員)	第三十五号	滋賀県市町村交通災害共済組合規約の変更について	可決(全員)
第十三号	平成十九年度長浜市びわ水道事業会計予算	可決(全員)	第三十六号	長浜市土地開発公社定款の一部変更について	可決(全員)
第十四号	平成十九年度長浜市病院事業会計予算	可決(全員)	第三十七号	教育委員会の委員の任命について	同意(全員)
第十五号	平成十八年度長浜市一般会計補正予算(第七号)	可決(全員)	第三十八号	監査委員の選任について	同意(全員)
第十六号	平成十八年度長浜市診療所特別会計補正予算(第二号)	可決(全員)	諮問		
第十七号	平成十八年度長浜市介護保険特別会計補正予算(第三号)	可決(全員)	第一号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める事について	可(審申)(全員)
第十八号	平成十八年度長浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第四号)	可決(全員)	議題		
第十九号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決(全員)	第一号	日露EPA交渉に関する議案	採決(全員)
第二十号	長浜市事務分掌条例の一部改正について	可決(多数)	第二号	長浜市議会会務規則の一部を改正する規則	可決(全員)
第二十一号	長浜市議員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決(全員)	議員提出議案		
第二十二号	長浜市議員の給料に関する条例の一部改正について	可決(全員)	第一号	長浜市議会議員会費条例の一部を改正する条例	可決(全員)
第二十三号	長浜市土地開発基金条例の一部改正について	可決(全員)	第二号	日露EPA交渉に関する議案	可決(全員)



「目」は青葉 山ホトトギス 初燈

今、農家の方々は一年で最も多様な時期ではないでしょうか。水の張られた圃場が、一枚一枚と緑のじゅうたんを敷き詰めたことくに美しく彩られています。残しておきたい原風景だと思っています。

また、お出かけには絶好の季節となつてまいりましたが、先の県議会議員選挙には、皆様も貴重な一票を投じられたことと思います。政治や行政に、しっかりと目を向けていただき、深い関心を持っていただければと思います。今期定例会においては、多くの議員が合併後一年を経過しての行政運営について質しました。市当局は、総括は出来ないが、持続可能な財政構造を確立し、合併協定された事項を尊重しつつ、今後も一体性のある市の建設にまい進して行くつもりです。

議員も、その本分のもと、まちへの役割を果たしてまいります。

ながはま市議会だより編集委員  
東野 司

一般質問の録音映像についてはインターネット上の「びわ湖情報」  
<http://www.discussvision.net/nagamasi/index.html>